

請願 第3号

受付 平成28年11月 1日

付託 平成 年 月 日

奨学金制度の改善と教育費負担の軽減に関する意見書の採択を求める請願

紹介議員 山野井 隆

・請願趣旨

我が国では、1998年以降下がり続ける保護者の賃金収入と、相反して上がり続ける大学の学費により、学生は奨学金を借りなければ大学に通うことが困難になっています。奨学金制度を運営する「独立行政法人日本学生支援機構」によれば、2014年度実績では135万人（無利子奨学金47万人、有利子奨学金88万人）が同機構の奨学金を利用しています。これは、全国の大学生のほぼ2人に1人にあたります。

他方で、大学卒業後には3人に1人の学生が非正規雇用となっており、2015年4月には、返還猶予期間が5年から10年に延長されたものの、奨学金を借りた8人に1人が返済の滞納や猶予の状態にあるとされています。このような状況にあるにもかかわらず、政府は、国立大学の授業料（2015年度約54万円）を更に値上げし、2031年度には約93万円にすることを検討しています。

こうした実態は、学ぶ意欲と能力をもった貧困世帯の子どもが、高等教育を受けることにより相対的に高い職業能力を身につけたとしても、貧困から脱することができない状況を生む可能性を示唆しています。

・請願事項

上記請願趣旨を理解いただき、貴議会において別紙の内容を柱とする意見書を採択の上、国会および関係行政府に提出くださいますよう、要請します。

平成28年11月 1日

請願者代表

住 所 牛久市中央2-27-2 自治労茨城県南会館

氏 名 日本労働組合総連合会茨城県連合会

県南地域協議会 議長 木村 太一 ほか1人

取手市議会議長 佐藤 清 殿